

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI  
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

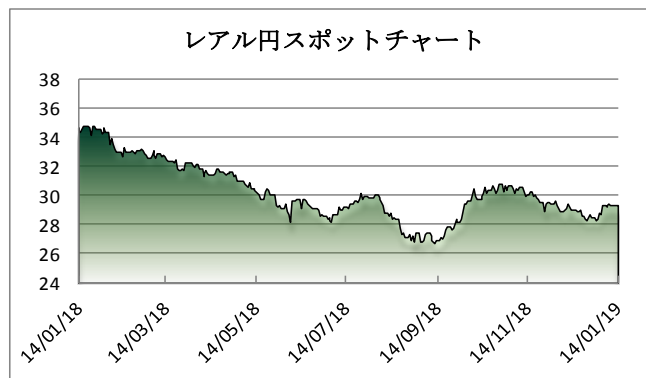
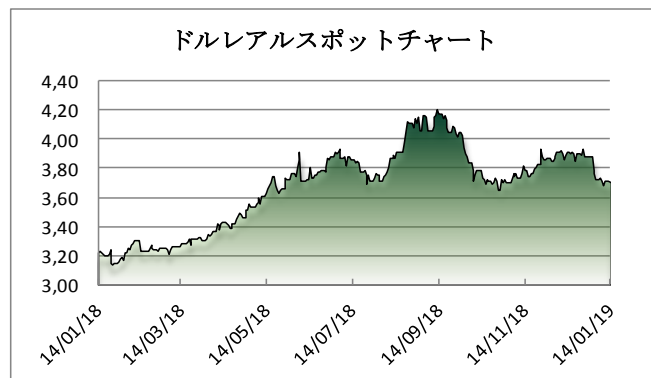
## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、序盤は3.73台で推移していたものの、中国政府が公表した減税計画を柱とする景気対策を契機にグローバルなリスクセンチメントも改善。一時3.68台半ばまでレアルは反発した。直近のサポート水準として意識されている3.67割れを試す展開になっているが、ブラジル国内の材料も散発的であり、さらなるレアル買いにはつながらず。目先は3.70を挟んで方向感のない時間帯が続くと予想される。一方、ボベスパ指数は力強い上昇トレンドが継続しており、昨日も前日比0.9%高を記録している。中国政府は景気減速への懸念が高まる中、「より大規模な」減税を今後行う方針を表明。昨年5月には製造業や輸送、建設などを対象に付加価値税の引き下げに踏み切っており、その後も個人所得税減税や税控除の拡大も実施している。今回も小規模企業や製造業を中心に減税を継続する見通しであり、年初から高まっている成長減速への対抗策として景気安定化策を講じる模様。ブラジル国内は、引き続き2月1日の議会再開を待っている状況。年金改革法案の内容について連日報道されており、Globo紙は、「新政権は移行期間として前政権が提示していた20年より短い15年を想定しており、これにより10年間でさらに1200億レアルの歳出抑制効果が見込まれる」と報じている。新政権が年金改革を介して財政再建への道筋を示すことに成功すれば、「2019年の間に格上げされる可能性もある」との楽観的見通しも出ており、ブラジルマーケットのハネムーン相場が継続するかどうかは、まさに年金改革法案次第、といった状況になっている。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	1月11日	1月14日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,7136	3,6976	-0,43%	-5,52%	3,6750	3,8991
	対円	JPY	29,23	29,24	0,03%	0,90%	29,53	27,71
	対ユーロ	BRL	4,2572	4,2398	-0,41%	-4,14%	4,2207	4,4568
円	対ドル	JPY	108,48	108,16	-0,29%	-4,61%	104,87	109,82
	対ユーロ	JPY	124,44	124,05	-0,31%	-3,23%	118,71	126,14
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	93.658	94.474	0,87%	8,03%	94.474	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	184,40	184,40	0,00%	-7,18%	209,52	180,02
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,19	9,12	-0,76%	-5,49%	9,24	9,11
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,63	6,58	-0,83%	2,69%	6,69	6,45
3 Months US Dollar Libor		%	2,7873	2,7789	-0,30%	-0,78%	2,8039	2,7825
CRB Index (国際商品指数)		Index	178,08	177,79	-0,16%	-1,40%	179,38	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。